

2007年10月から2022年10月までに
3次元経食道心エコーが施行された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定、令和3年6月30日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名：3次元心エコー図法を用いた二次性左室リモデリングによる僧帽弁逸脱の偽正常化の研究
2. 研究期間：2017年10月1日～2024年9月30日
3. 研究機関：産業医科大学病院 循環器腎臓内科
4. 実施責任者：産業医科大学医学部第2内科学 学内講師 岩瀧麻衣
5. 研究の目的：
僧帽弁逸脱が、虚血性心疾患などによる左室拡大により、逸脱部位が正常化をきたすかどうか？を3次元心エコーを用いて検討します。
6. 研究の方法：
3次元経食道心エコーの画像を解析し、収縮中期の左室容積を測定します。僧帽弁逸脱容積（弁輪を基準としたものと非逸脱弁尖を基準としたもの）をそれぞれ測定し、僧帽弁逆流の程度を評価します。逆流重症度と逸脱容積、左室容積の関係性を調べます。
7. 個人情報の取り扱い：
データの管理は対象者番号等で行い、氏名など個人情報が外部に漏れることがないように十分留意します。この研究で得られたデータは研究終了後、5年間（もしくは当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年間）保管された後、研究実施責任者の管理の下、匿名化を確認の後、直ちに廃棄します。利用の拒否を申し出られた際は、その時点までに得られた個人情報は、直ちに同様の方法で廃棄します。

8. 問い合わせ先：

産業医科大学医学部第2内科学 学内講師 岩瀧麻衣 093-603-1611

9. その他：

本研究では対象者に経済的負担は発生しません。対象者に謝礼はありません。また、本研究の成果に基づいて、特許権などの知的財産権が生ずる可能性もありますが、その権利は産業医科大学に帰属し、対象者には知的財産権は発生しません。本研究は、臨床的に必要な検査の中で行うため、対象者に不利益は発生しません。